

平成 15 年 8 月 4 日

国土交通省九州地方整備局

熊本河川国道事務所

八代河川国道事務所

記 者 発 表 資 料

九州の5年で見える道づくり「ちゃく²プロジェクト2003」 一選択と集中、無駄なくスピーディにサービス提供一

- 九州地方整備局では、厳しい財政的制約を踏まえ、効果の高い事業の集中的・重点的な整備を進める、一九州の5年で見える道づくり「ちゃく²プロジェクト2003」一を推進します。
- 選択と集中により、5年以内に供用が可能な箇所を選定し、供用目標と効果を明示し、供用目標達成に向けて、事業の進捗管理を徹底します。
- 熊本県内では、国道3号日奈久芦北道路、国道57号熊本東バイパスなど6箇所の改築事業箇所と、4箇所の交通安全事業箇所を選定しました。
- 今回選定しなかった事業についても、今後の進捗状況に応じて適宜追加していく予定です。

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局

熊本河川国道事務所

電話：(代表) 096-382-1111

技術副所長 的場 眞二 (内線205)

調査第二課長 白田 雅彦 (内線451)

八代河川国道事務所

電話：(代表) 0965-32-4135

技術副所長 野田 佳嗣 (内線205)

調査第二課長 浅井 博海 (内線451)

※九州地方全体については、平成15年8月4日14:00より、九州地方整備局において、記者レクを行ったところです。

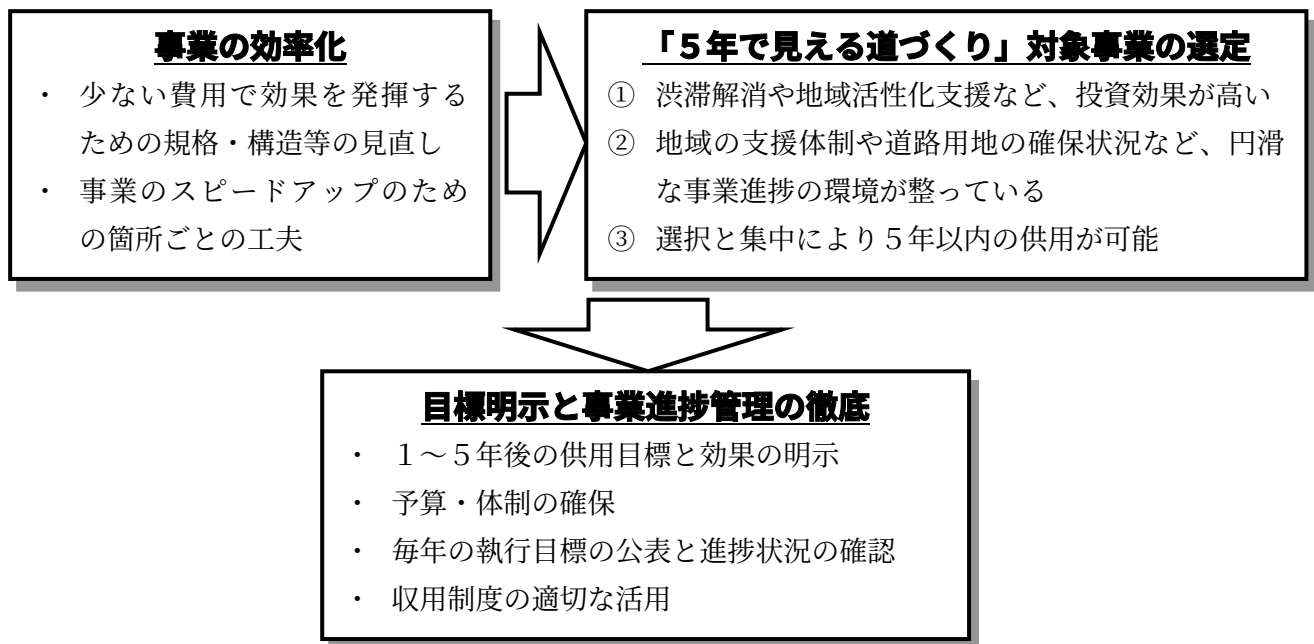
九州の5年で見える道づくり「ちゃく²プロジェクト 2003」

～選択と集中、無駄なくスピーディにサービス提供～

1. 利用者に見える道づくりを目指し、供用目標・効果の明示と進捗管理

- ◆ 厳しい財政的制約を踏まえ、効果の高い事業の集中的・重点的な整備を進めます
- ◆ 規格の見直し、事業のスピードアップなど総合的なコスト縮減に取り組みます
- ◆ 選択と集中により5年以内に供用が可能な事業を選定し、供用目標と効果を明示します
- ◆ 供用目標の達成に向けて、予算・体制の確保、毎年の進捗状況の確認、用地確保のための収用制度の適切な活用など、事業の進捗管理を徹底します

○ 九州の5年で見える道づくり「ちゃく²プロジェクト」の構成



- ・ 九州地方整備局では、「5年で見える道づくり」の考え方に基づき、着々と着実に重点的に整備する事業を「ちゃく²プロジェクト」（“ちゃくちゃくぷろじえくと”＝通称“ちゃくプロ”と読んでください）として選定します。
- ・ 「ちゃく²プロジェクト 2003」には、事業中の箇所のうち、平成15年7月現在で要件を満たす事業区間を選定しました。
- ・ 今回選定しなかった事業についても、今後の進捗状況に応じて適宜追加していく予定です。
- ・ 供用目標は、平成15年度予算とほぼ同程度の道路整備予算が確保されることを前提としたものです。今後、予算規模が大きく変動した場合には見直しが必要となることがあります。

2. 九州の5年で見える道づくり「ちやく²プロジェクト 2003」の供用目標

- ◆ 改築事業（バイパス事業や道路の拡幅事業など）では、平成19年度までに79区間、約187kmを供用。うち、平成15年度には22区間、約28kmの供用を目標に事業を進めます。（別添資料）
- ◆ 加えて、交通安全対策事業では、平成19年度までに41箇所、約19kmの歩道整備・交差点改良を行い、道の駅5駅の整備を目標とします。

【供用目標の総括】

①改築事業（バイパス、拡幅事業等）

整備延長（区間数）

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	H15～19年度
改築事業	27.6km(22)	31.3km(13)	41.1km(19)	18.1km(6)	69.1km(19)	187.2km(79)

※ 一連の事業箇所の一部区間で段階的に供用を計画している箇所についても、供用の単位を1区間として算出

②歩道整備・交差点改良（交通安全事業）

箇所数（歩道の延長）

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	H15～19年度
歩道整備 交差点改良	19 (7.1km)	10 (5.7km)	6 (1.9km)	3 (2.4km)	3 (2.2km)	41 (19.3km)

※ 一連の事業箇所の一部区間で段階的に供用を計画している箇所についても、供用の単位を1区間として算出

③「道の駅」整備箇所数（交通安全事業）

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	H15～19年度
「道の駅」整備	2箇所	2箇所	1箇所	—	—	5箇所

※ ホームページ上での公表について

供用目標等、「別添資料」の内容については、九州地方整備局のホームページにも公開する予定です。（www.qsr.mlit.go.jp）

3. 九州の5年で見える道づくり「ちゃく²プロジェクト 2003」の効果

○ 「ちゃく²プロジェクト 2003」の効果は、以下のように推計されます。

◆ 交通の円滑化

- ① 渋滞の解消など時間短縮効果：年間 4,900 万台・時間／年
＝のべ 280 万台の車 × 平均 17 時間／年の短縮
(金額換算では、約 2,000 億円／年)
- ② 主要渋滞ポイントの解消・緩和： 162 箇所のうち 32 箇所を解消もしくは緩和
(直轄国道では 82 箇所中 28 箇所)
例：「井尻六ツ角交差点」、「やよい坂交差点」ほか 4 箇所の渋滞緩和 (福岡外環状道路)
例：「基山登山口交差点」の渋滞緩和 (基山拡幅)

◆ 地域の活力につながる効果

- ③ 自動車専用道路に 10 分以内でアクセスできる空港・港湾の数：
重要港湾 6 港 → 7 港
内訳：三池港～有明海沿岸道路（大牟田 IC）まで 7 分
- ④ 新たに高速 IC から 30 分圏内に入る市町村の製造品出荷額： 3,200 億円
例：宮崎県延岡市「クレアパーク延岡※」～細島港 への所用時間 33 分 → 21 分（延岡道路）
※クレアパーク延岡： 複合産業団地として、工業・物流系用地と大学を開発。事業期間 H6～H17、開発面積 135ha
- ⑤ 主要観光地から日帰り圏内（2 時間圏）の人口の増加： 80 万人
例：長崎市への日帰り観光圏の人口が 6 万人増加（佐世保道路ほか）
- ⑥ 主要観光地の周遊ルート構築（事例のみ）
例：阿蘇～別府の移動時間 137 分 → 124 分（中九州横断道路、別大拡幅ほか）
- ⑦ 各県中心市場（県庁所在都市）への所要時間短縮：
5 分以上短縮する市町村の農業粗生産額； 373 億円、1～4 分短縮； 2,021 億円
〃 水産漁獲量； 3.6 万トン、〃； 14.6 万トン
例：大分県竹田市周辺 7 市町村（農業粗生産額 200 億円）～大分市 82 分 → 76 分（中九州横断道路）
- ⑧ 県庁所在都市への時間短縮： 5 分以上短縮； 15 万人、1～4 分短縮； 143 万人
例：福岡県庄内町～福岡県庁 54 分 → 46 分（飯塚庄内田川バイパスほか）

◆ 暮らしの快適と安心につながる効果

- ⑨ 新たに整備する歩道を利用する歩行者数： 約7万人／日
- ⑩ 2次救急医療施設へのアクセス時間が短縮する人口：
5分以上短縮する人口； 6万人、1～4分短縮； 42万人
例：宮崎県北方町→宮崎県立延岡病院 27分 → 20分（北方延岡道路）
例：鹿児島県東市来町→済生会川内病院 37分 → 27分（川内道路）
- ⑪ 騒音の夜間要請限度達成率： 63.6% → 65.3%
- ⑫ CO₂排出削減量： 41,400t-C/年（炭素換算トン／年）＝ 26万本の樹木が吸収する量に相当

◆ 交通の安全と防災を向上する効果

- ⑬ 道路交通における死傷事故率： 123.7件／億台キロ → 120.7件／億台キロ（約2.4%減）
例：熊本東バイパス：H13年271件の死傷事故が発生 → 66件（24%）削減
- ⑭ 道路線形不良箇所： 104箇所解消
例：竹原峠道路（福岡～大分県境）：58箇所の急カーブ等を解消
- ⑮ 事前通行規制区間延長： 68.7km → 62.0km
内訳：青島日南改良（宮崎県）4.1km、早崎防災（鹿児島県）2.6km
- ⑯ 災害時救援ルート確保率： 78.7% → 83.0%

九州の5年で見える道づくり
「ちゃく²プロジェクト 2003」

【箇所別目標一覧及び位置図】

「ちやく²プロジェクト2003」一覧（熊本県）

H15.8.4

路線名	事業箇所名	所在地	全体延長	平成15～19年度の供用目標	事業効果	平成15年度の執行目標	担当事務所
改善事業							
国道3号	熊本北バイパス	熊本市～菊池郡西合志町～熊本市	7.6km	H19年度 国道387号～麻生田交差点 1.6km 2/4車線供用	・国道387号とのネットワーク構築による熊本都市圏の渋滞緩和	用地取得率70%(H19供用区間)西合志高架橋下部工及び上部工一部完成	熊本河川国道 熊-1
国道3号	川尻バイパス	熊本市～宇土市	7.6km	H17年度 富合地区農免道路(富合町清藤)～松原交差点(宇土市新松原町) 2.4km 4/4車線供用(4車線拡幅、全線供用)	・交通の円滑化、主要渋滞ポイント「松原交差点」の交通渋滞解消	用地買収完了 北田尻橋・南田尻橋上部工(上り線)工事完成 北田尻橋・南田尻橋下部工(下り線)工事着手	熊本河川国道 熊-2
国道3号 南九州西回り自動車道	日奈久芦北道路	八代市～葦北郡芦北町	16.8km	H16年度 日奈久IC～田浦IC 8.8km 2/4車線供用	・国道3号の渋滞緩和及び沿道地域の利便性の向上 ・熊本県南地域(田浦町、芦北町等)の産業活性化	用地買収完了(H16供用区間)赤松トンネル工事概成 橋梁下部工工事完成(大平橋) 橋梁上部工工事促進(大平橋、小蘇橋)	八代河川国道 熊-3
国道3号	新水俣駅周辺地区整備	水俣市	0.3km	H15年度 完成 0.3km 完成	・九州新幹線「新水俣駅」と国道3号の交通結節点の強化	完成	熊本河川国道 熊-4
国道57号	熊本東バイパス	熊本市	9.7km	H15年度 保田窪～県庁通り入口 2.3km 平面6/6車線供用(4/6→6/6、部分) " 済生会入口～近見交差点 1.2km 平面6/6車線供用(4/6→6/6、部分) H16年度 江津団地入口～済生会入口 3.1km 平面6/6車線供用(4/6→6/6、部分) H17年度 県庁通り入口～江津団地入口 1.9km 平面6/6車線供用(4/6→6/6、全線)	・熊本都市圏の交通円滑化	2区間6/6車線供用 改良工事促進	熊本河川国道 熊-5
国道208号	玉名バイパス	玉名市～玉名郡岱明町	8.5km	H19年度 玉名市寺田～(主)玉名山鹿線(国道208号～(主)玉名山鹿線) 2.0km 2/4車線供用	・玉名市の地域づくり(新玉名駅周辺整備計画)の支援 ・現道208号の交通円滑化 ・主要渋滞ポイント「市役所前交差点」の渋滞緩和	新玉名大橋下部工及び上部工一部完成 文化財調査完了	熊本河川国道 熊-6
交通安全事業							
国道3号	植木地区自歩道整備	鹿本郡植木町	0.54km	H15年度供用 0.54km 自歩道整備	・安全で安心な歩行空間の確保	供用延長L=0.54km(事業完了)	熊本河川国道
国道3号	夕葉地区自歩道整備	八代市	4.0km	H15年度供用 3.0km 段差・勾配解消	・安全で安心な歩行空間の確保	供用延長L=0.3km(事業完了) (既供用済L=1km)	熊本河川国道
国道3号	道の駅	葦北郡田浦町	1箇所	H15年度供用 駐車場 トイレ 情報提供施設	・道路利用者の休息と地域活性化	事業完了	熊本河川国道
国道57号	道の駅	宇土市	1箇所	H17年度供用 駐車場 トイレ 情報提供施設	・道路利用者の休息と地域活性化	用地取得完了	熊本河川国道

凡例（「平成15～19年度の供用目標」欄の供用形態）

(※)	H15年度供用のうち、4月1日から8月4日までの供用区間
2/2車線供用	2車線計画の道路について、2車線を施工し供用
2/4車線供用	4車線計画の道路について、2車線を施工し供用（2/6車線供用、4/6車線供用なども同様）
4/4車線供用	4車線計画の道路について、4車線を施工し供用
4車線拡幅	現在の道路を拡幅し、車線を4車線化して供用
2/4→4/4	「2/4車線供用」している道路について、計画どおり4車線道路とするため、2車線を増設
自歩道整備	自転車歩行車道（自転車・歩行者が通行するために設けられる道路の部分）
側道橋	自歩道又は歩道を設置するために車道橋に併設される橋
付加車線	追い越し車線、ゆずり車線など、一部区間において増設された車線
視距改良	見通しを改善するための局所的な拡幅、線形改良など

植木地区自歩道整備

H15 供用 L=0.54km

玉名バイパス

H19 玉名市寺田～(主)玉名市山鹿線
2.0km供用

熊本北バイパス

H19 国道387号～麻生田交差点
1.6km供用

熊本東バイパス

H15 保田窪～県庁通り入口 2.3km 6車線化
H15 済生会入口～近見交差点 1.2km 6車線化
H16 江津団地入口～済生会入口 3.1km 6車線化
H17 県庁通り入口～江津団地入口 1.9km 6車線化

川尻バイパス

H17 富合地区農免道路～松原交差点
2.4km 4車線化

道の駅

H17 供用

夕葉地区自歩道整備

H15 供用 L=3.0km

日奈久芦北道路

H16 日奈久IC～田浦IC
8.8km供用

道の駅
H15 供用

新水俣駅周辺地区整備

H15 完成 0.3km

